

登録有形文化財（建造物）の登録について

令和2年11月20日（金）に文化審議会が開催され、同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、下記の文化財の登録が文部科学大臣に答申されました。今後、官報告示を経て、登録文化財原簿に登録されることとなります。

本県関係では、令和2年7月17日答申の旧浅井薬店（小澤金物店）店舗兼主屋など3件に続くもので、合計226件となります。

記

答申予定の登録有形文化財（建造物） 14件

	名 称	所 在 地	所 有 者	建 築 年 代
1	<small>きゅうおおわだぎんこうほんてんしやおく</small> 旧大和田銀行本店社屋	敦賀市相生町	敦賀市	明治34年（1901）
2	<small>きゅうなかなたゆうびんきょく</small> 旧中名田郵便局	小浜市下田	個人	昭和11年（1936）頃
3	<small>いわのへいざぶろうせいししよじむしよ</small> 岩野平三郎製紙所事務所	越前市大滝町	個人	明治元年（1868）
4	〃 <small>おもや</small> 主屋	〃	〃	明治元年（1868）
5	〃 <small>どぞうおよ つな や</small> 土蔵及び繋ぎ屋	〃	〃	大正後期
6	〃 <small>にがまば</small> 煮釜場	〃	株式会社 岩野平三郎製紙所	昭和27年（1952）
7	〃 <small>ば</small> ピーター場	〃	〃	昭和28年（1953）
8	〃 <small>す ば およ あっさくば</small> 漉き場及び圧搾場	〃	〃	大正後期
9	〃 <small>は ば かんそうば</small> 張り場及び乾燥場	〃	〃	昭和28年（1953）
10	〃 <small>コグラ</small>	〃	〃	昭和24年（1949）
11	〃 <small>きゅうだいく こ や</small> 旧大工小屋	〃	〃	昭和31年（1956）
12	<small>ば ば け じゅうたく おもや</small> 馬場家住宅主屋	越前市広瀬	個人	明治24年（1891）頃
13	〃 <small>どぞう</small> 土蔵	〃	〃	明治25年（1892）
14	〃 <small>ながやもん</small> 長屋門	〃	〃	文久2年（1862）

きゅうおおわだぎんこうほんてんしゃおく
旧大和田銀行本店社屋について

- (1) 所在地 敦賀市相生町
- (2) 所有者 敦賀市
- (3) 年代 明治34年建築
明治37年・平成8年改修

- (4) 登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの

- (5) 特徴 地方銀行の本店遺構である。木造二階建て切妻造り棧瓦葺きで、正面にパラペットを立ち上げ陸屋根（ろくやね）に見せ、矩形（くけい）に縦長窓を並べて洋風の意匠をとり、当時の姿をよくとどめている。



本店社屋



金庫

旧中名田郵便局について

- (1) 所在地 小浜市下田
- (2) 所有者 個人
- (3) 年代 昭和11年頃建築
昭和後期改修
- (4) 登録基準
国土の歴史的景観に寄与しているもの
- (5) 特徴



市城南西の山間にあるもと郵便局舎である。木造二階建て寄棟造り棧瓦葺きで、切妻玄関を設けている建物である。下見板（したみいた）張りにペンキ塗りで、一階に縦長窓を開くなど、昭和初期の地方郵便局舎の様相を示している。



郵便局正面



2階部屋

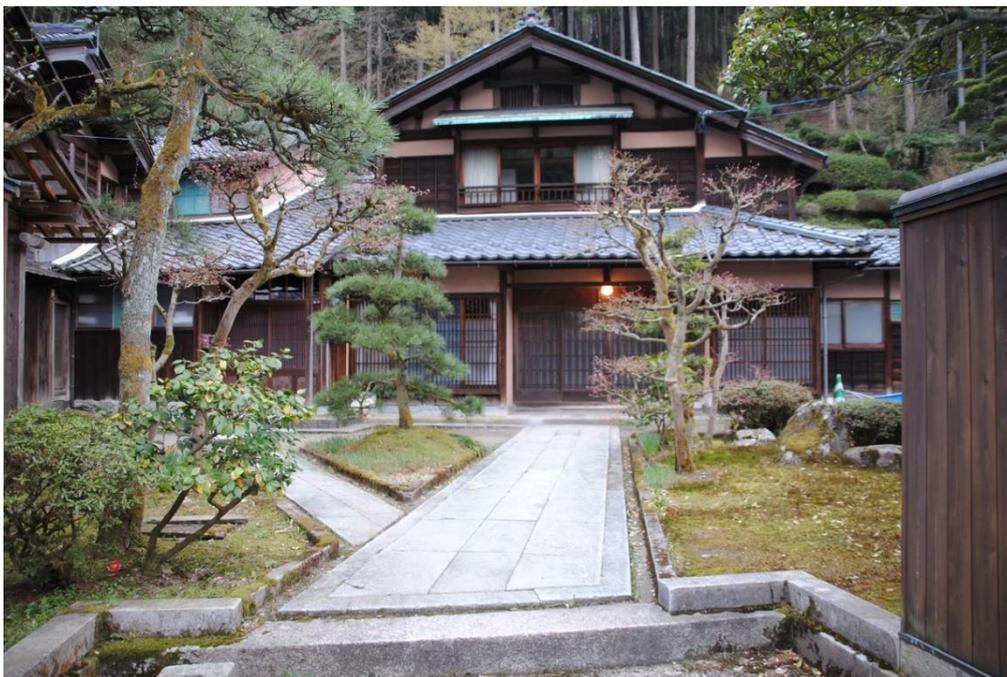
岩野平三郎製紙所について

- (1) 所在地 越前市大滝町
- (2) 所有者 岩野平三郎製紙所、個人
- (3) 年代 明治元年～昭和 31 年建築
- (4) 登録基準

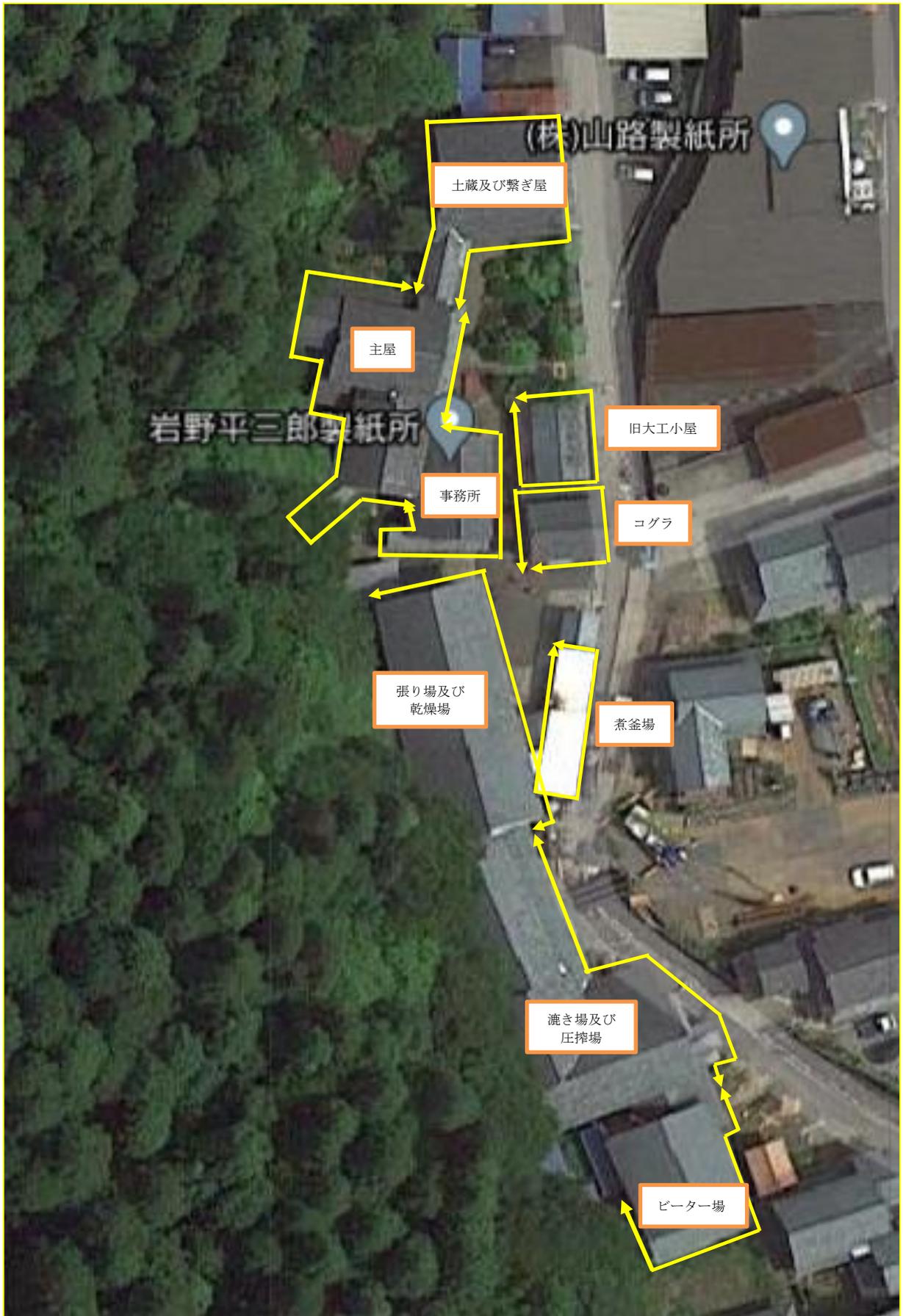
国土の歴史的景観に寄与しているもの

- (5) 特徴

越前和紙の産地、旧今立町にある製紙所。事務所は岡本川が流れる谷間の南北に長い敷地に北寄りに建つ。木造二階建て、切妻造り棧瓦葺きで正面に下屋を付す。外壁は土壁で腰を下見板張りや堅板張りとする。隣接する主屋のほか、岡本川の上流となる南から北に向かってピーター場、漉き場及び圧搾場（あっさくば）、煮釜場（にがまば）、張り場及び乾燥場、コグラ、旧大工小屋、土蔵が残り、和紙製造過程の一連の施設群をなしている。



主屋正面



配置図

① 事務所

- ・年代 明治元年建築、昭和中期改修
- ・特徴 木造二階建て、切妻造り棧瓦葺きで正面に下屋を設けている。一階は事務室・応接室、二階は和室として使用されている。昭和中期に改修はあるものの、明治時代の部屋構成を残した製紙所の事務所として貴重な建物である。



外観（玄関側）



1階応接室

② おもや 主屋

- ・年代 明治元年建築、大正後期増築、昭和8年頃・同30年頃・同中期増築
- ・特徴 事務所の北西側に位置し、木造二階建て、切妻造り棧瓦葺きの北棟と棟を直行させた南棟を平屋で接続し、東・北面に深い下屋を設けている。北棟を居室部、平屋を内玄関とし、南棟は台所を設け、風格ある屋敷構えを構成する建物である。



全景



2階和室

③ 土蔵及び繋ぎ屋^{つなや}

- ・年 代 大正後期建築
- ・特 徴 敷地北端に位置し、南面にして建つ木造二階建ての土蔵である。外壁は漆喰で軒先まで塗込め腰を下見板張りとし、丁寧なつくりをなしている。また、土蔵から住宅に続く繋ぎ屋も同時に建てられ、内部に風呂等が備えられている。



全景



2階8帖部屋

④ 煮釜場^{にがまば}

- ・年 代 昭和27年建築
- ・特 徴 木造平屋建てで、原材料の繊維の煮沸、洗浄を行う施設である。屋根は片流れの鉄板葺きで、南北に長く敷地の高低に合わせて北半を一段低く作られ、外壁は縦板張りとしている。



全景



南側の部屋

⑤ ビーター場

- ・年 代 昭和 28 年建築
- ・特 徴 敷地南端に位置し、木造平屋建ての切妻造り 葺きで、原材料の繊維の塵取り、叩き解しを行う施設である。外壁は下見板張りで、連続した横長窓で開口を広くとっている。



全景



内部北面

⑥ 漉き場及び圧搾場

- ・年 代 大正後期建築、昭和 28 年改修
- ・特 徴 木造二階建て、切妻造りの L 字型の平面をもつ建物で、紙漉きと漉いた紙を乾燥前に水分を除く圧搾の行う施設である。漉き場内部は天井が高く、南東面は上下二段に窓を開いて採光を図っている。



全景



漉き場

⑦張り場及び乾燥場

- ・年 代 昭和 28 年建築、同 40 年頃増築
- ・特 徴 木造平屋建て切妻造り棧瓦葺きで、圧搾場の北に接続し、東面にして建てられている。外壁は下見板で一部堅板張りとなっている。東側は、大部屋の作業空間を作っているが、西側の施設では乾燥室の小部屋を配している。



全景



2 階部屋

⑧コグラ

- ・年 代 昭和 24 年建築
- ・特 徴 土蔵造りの二階建て、棧瓦葺きで背面に下屋を設け、街路に沿って南面して建てられている。外壁は漆喰で軒先まで塗込め腰をモルタル塗りで仕上げられている。



全景



2 階部屋

⑨旧大工小屋

- ・年 代 昭和 31 年建築
- ・特 徴 木造平屋建て、切妻造棧瓦葺きで、コグラの北に近接し西面して建てられている。もとは和紙出荷用の包装木箱の製作所と伝えられている。外壁は下見板張りで上部を土壁で仕上げられている。



全景



内部

ばばけじゅうたく
馬場家住宅について

- (1) 所在地 越前市広瀬
- (2) 所有者 個人
- (3) 年代 文久2年～明治25年建築
- (4) 登録基準
国土の歴史的景観に寄与しているもの
- (5) 特徴

市街地西方に位置し、馬場家は代々福井藩広瀬領の大庄屋を務めた。主屋は二階建て切妻造り棧瓦葺きで角屋（つのや）を張り出し玄関としている。束と貫を整然と重ねた妻面を見せる越前の豪壮な民家である。土蔵は漆喰を軒まで塗り込め、戸口廻りに意匠を凝らす。長屋門は大型でL字型の平面をもち、旧家の風格をよく示している。



主屋全景



長屋門全景



配置図

おもや
①主屋

- ・年 代 明治 24 年頃建築、明治 39 年増築改修、昭和前期増築
- ・特 徴 木造二階建て切妻造り棧瓦葺きで、敷地中央に南面する。明治 39 年に角屋を増築して二階を改修している。また、昭和前期に北側に便所及び浴室などを増築している。



全景



1階 10畳部屋

②土蔵

- ・年 代 明治 25 年建築
- ・特 徴 木造二階建て、切妻平入棧瓦葺きで、敷地北西隅に建つ土蔵である。腰高に切石積基礎を積み、外壁は漆喰塗りで軒まで塗込め、下部を下見板張りとする。



全景



2階部屋

③長屋門

- ・年 代 文久 2 年建築、大正 2 年移築
- ・特 徴 主屋に南面して建ち、入母屋造平入棧瓦葺きで、L字形の平面をもつ。扉は、両開きの板戸を吊り、両脇にそれぞれ潜戸を設けられ、旧家の風格を示す門である。



全景



正面